

## 平成 27 年度第 1 回阿賀野市観光戦略プラン推進・評価委員会会議録

I. 日 時 平成 27 年 1 月 21 日 (水) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

II. 会 場 阿賀野市役所 402 会議室

III. 参 集 者 審議会委員：中島委員 清野委員 小林委員 本間委員 檜垣委員  
渡辺委員 野田委員 高橋委員 鈴木委員

事 務 局：飯野課長 松崎課長補佐 田中係長 渡辺主事

以上 13 名

IV. 内 容

### 1. 開 会

(事務局) 定刻となりましたので平成 26 年度第 1 回阿賀野市観光戦略プラン推進・評価委員会を開催いたします。まず、次第により委員長、副委員長選出に入りたいと思います。委員会設置要綱第 4 条により、委員長、副委員長は委員の互選ということになりますが、いかがでしょうか。立候補、推薦等ありましたら受けたいと思いますが、特になければ事務局案を発表させていただきます。よろしいでしょうか。

(委員) 意義なし。

(事務局) 委員長については阿賀野市観光協会会長 中島正昭さん、副委員長については、阿賀野市総合型クラブクラブマネージャー 本間由香里さんをお願いしたいと思いますが、委員の皆さまのご意見をいただきたいと思います。

～・～・～委員から、意義なしということで承認された。～・～・～

(事務局) それでは、お二人につきましては、委員長、副委員長ということによりよろしくお願いたします。以後、委員長から進行をお願いいたします。

## 2 委員長あいさつ

(委員長) 阿賀野市観光協会の会長をさせていただいております、中島です。国も県も観光立国、観光立県ということに取り組んでおり、阿賀野市においても、地域の活性化という点で観光という分野は切り離せない、必要不可欠なものと思っております。またこの観光戦略プラン策定においても大きな責任があると感じております。プランは5年前に策定されましたが、今は新たな時代背景、経済背景の中で、地方のやる気が問われる時代があります。みなさんと一緒にこの地域のために、微力ながら推進できるよう取り組んでまいりたいと思っております。皆さまからご指導をよろしくお願ひしたいということをお願い申し上げます、就任のあいさつをさせていただきます。

## 3 自己紹介

(委員) 阿賀野市総合型クラブのクラブマネージャーの本間です。阿賀野市誘客推進協議会の事務局もさせていただいております、市内を巡るバスツアーを行っています。この会議では皆さんから多くのことを学びながら、副委員長を務めたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

(委員) 五頭温泉郷旅館協同組合の清野です。我々旅館業は観光に一番結びつく業種でありますので、頑張って取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

(委員) 京ヶ瀬商工会長の小林です。京ヶ瀬地区は、もともと観光協会はなかったのですが、今の地方創生に取り組む状況の中で、京ヶ瀬としても何かできないかということで、この会で勉強させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

(委員) 越後桜酒造の檜垣です。国道49号線沿いにあり、酒蔵見学を受け入れています。これまで、県外のいくつかの場所で仕事をしており、観光には関心がありますので、そういった部分で協力できればと思ひます。よろしくお願ひします。

(委員) 出湯温泉パン工房の渡辺です。地域おこしということでパン工房をはじめさせていただきました。子供たちのバドミントンにも関わっており、また別の部分で地域おこしができれば協力したいと思ひます。よろしくお願ひします。

(委員) まちあるきガイドの会の野田です。平成20年に阿賀野市に転入してきました。市のまちあるきガイド養成講座を受け、現在の会を立ち上げました。地域のために、そして、自分自身もやってよかったなあと思える取組をしてみたいと思ひます。よろしくお願ひし

ます。

(委員) サントピアワールドの高橋です。阿賀野市に人が来なければ、私たちは生き残れないということを痛切に感じています。こういった場でいろんな意見を聞き、市の観光振興にお役にたてればと感じております。よろしくお願いします。

(委員) 五頭自然学校の鈴木です。2年前の5月に開校し、今、畑江のぼっぼ五頭で様々な活動をしています。自然保護と観光について、観光客が来ると自然が守られないとか、自然を守ることにこだわると観光客が呼べないというような矛盾した考え方に疑問を感じています。子供たちにいろいろ教えながら活動しています。旅行会社にいた経験もあり、お役にたてればと思います。よろしくお願いします。

#### 4 議 題

- (1) 阿賀野市観光戦略プランについて
- (2) 阿賀野市観光戦略プランの見直しについて

...事務局から一括説明

#### 質疑応答

(委員長) 事務局から、これまでの5年間の各施策の状況について説明をいただいた。これから審議に入るわけであるが、一つ確認したい。この委員会のあり方という部分で、各事業団体が、戦略的に観光施策に取り組んでいるわけであると思うが、我々はその内容をチェックして、こうするべきだ、ということを議論していくことになるのか。

(事務局) 現在の計画では、各施策をこのように実行します、ということだけ記載されているので、成果がどうだったのか、という説明ができないのが現状である。そこで、今後は各施策について、何を、いつまでに、どの程度できたら目標が達成されるのかといった指標を設定していきたいと考えている。そのための意見や提案を委員の皆さんからいただきたい。このプランに基づいて、基本計画の目的に沿って、事業が推進されているかどうかを評価、検証するということをこの委員会の目的としている。各施策について目標数値を掲げて進捗管理をしていくために、今年度3回の会議を予定しており、プランの内容の見直しをしていきたいと考えている。

(事務局) 毎年、この会議を開催し、委員の皆さんから意見をいただいていたところですが、このプラン自体が見にくく、理解しにくいという問題がある、今のプランには戦略1から7まであり、各戦略の基本施策がその下に掲げてある。そして施策の進捗状況のほうで、各施策についてこういうことをしました、あるいはこの施策は未実施ですということを、記載している。このたび、当初の概ね5年の計画も経過したことから、新しく委員になっていただいた皆さんに、各戦略をどのように扱っていったらいいのか、基本施策を踏まえて見直しをしていきたいということである。皆さんからいただいた意見を事務局で整理し、また皆さんに提示するので、協議していただきたい。今のプランでは項目羅列でしかない基本施策について目標管理し、「見える化」していきたいと思う。たとえば、瓢湖の朝のバスツアー、これは3年間で数値が伸びている。これは旅館組合で取り組んでもらっているものであるが、これをたとえば3年後には一千人にしたいというような、目標を設定して取り組んでいきたいという考えである。この内容をそのまま実施していくのではなく、もっとわかりやすいものにしていきたい。

(委員長) 5年前の計画は、各団体が行っている事業を羅列したもの。最近できた組織や団体をあてはめているものもあるが、大半は何年も前から継続している事業を羅列したものである。非常にいい計画ではあると思うが、見えない部分が多すぎる。

(事務局) 確かに今までやってきた事業の羅列であるが、この進捗状況の左側の部分の基本施策を見直すということ。内容の部分は、各団体が取り組んでいる事業をあてはめているというのはその通りであり、これまではそれを委員会で報告してきた。

(委員) この施策の進捗状況というのは、この会議の場で出た意見などが事業に移されたものと、そうでないものが一緒になっている。実際、五頭自然学校はこの会議とは関係なく全く別にできたものであるが、取組がこのプランに入っていることに違和感を感じる。実際委員になってみたものの、何を評価検証したらいいのかがよくわからない。

(委員) 戦略の一つひとつはそんなに間違っていないと思う。目標があり、戦略があり、施策があるが、それらをつなぐ部分が何もないと思う。阿賀野市にいかにか人を呼ぶかが一番の目的であるが、今の施策を見ていると、市外から人を呼ぶというものがあまりない。いかに外貨を稼ぐかというのが観光の目的だと思うが、そこが少し欠けているように思う。また、せっかく稼げるものであってもアピールがされなくては、どんなにいい企画でも外に知らしめなければ意味がない、自己満足で終わってしまうと思う。

(事務局) 確かに、何を、いつまでにという目標がないので、わかりにくい。この施策のためには何をしなくてはならないのかという具体的な取組が必要である。

(委員) 現在の計画は、この計画を作ったから終わりという気がする。今までの委員会はそのとして、今回新しくなったこの委員会がしっかりと内容の評価検証をすることが必要。我々の使命として、このプランの方向付けをしっかりとしていかななくてはならない。

(委員) プランそのものは大変いいと思うが、点と点が線で結ばれていない。例えば6次産業化に一生けん命取り組んでいる人がいたり、体験交流に力を入れている人がいたりする。また、旅館のホームページを見てお土産を買う人も多いと聞くので、情報発信にもっと力を入れていくことも必要と思う。

(委員) 阿賀野市も県全体を見ても、外部へのアピールが足りないと思う。素晴らしい自然があるのでそれを守りながら、阿賀野市が県内でどういう位置づけの観光地になるのかということを考えながらPRしていくことが必要。また、せっかくいいものがあっても交通の便が悪いので、改善が必要と思う。自分の取り組みを観光につなげられないかとも考えている。

(委員) 阿賀野市が最終的な目的地でなく、どこかに行ってしまう人が多いと思う。市内での結びつきがまだ弱いような気がする。お昼をどこで食べたらいいかという質問をよく受けるが、そこを通過地点で終わらないよう、瓢湖など、観光の拠点整備も重要になってくると思う。

(委員) 現在のバスツアーも、このプランを参考にしている部分があるが、40名大型バスでの移動だと、昼食の受け入れ場所、トイレの問題などが出てくる。また、くれよん独自の市内ツアーを組んでもらったが、温泉は月岡だったので、またいろんな意見をもらいながら戦略を考えていきたい。

(事務局) 戦略プランの中に現在の課題があるが、今皆さんからいただいたような意見が載っている。観光資源としての活かし方がたりないとか、施設が点在しており線で結ばれていないとか、当時のまま変わっていないのではないかという気がする。しかし、もてなしの心という部分では、五頭温泉郷がリピーターナンバーワンということもあり、改善されている部分もあるという気もする。こういうことも含めて、現在変化してきたものなどについて協議していただきたいと思う。

(委員長) 今、プランに網羅されている項目と内容を見直ししていくことになると思うが、今後のスケジュールはどのようになるか。

(事務局) 本日の会議録作成とあわせて、今後のプラン見直しにあたって意見をいただくためのシートを作成するので、皆さんからご意見を記入いただき、次回会議までに提出をお願いしたい。その内容を事務局でまとめ、次回会議で提示させていただきたいと考えている。

(事務局) 現在の進捗状況は参考として捉えていただきたい。各施策について、実行したのか、しなかったのかという部分で記載したものであり、様々な団体がこれまでに取り組んできた内容である。この進捗状況とあわせて、それぞれどんな団体が取り組んできたのかという内容まで載せていなかったため、今回初めてこのプランを見る皆さんにとっては、混乱してしまう部分もあったと思う。

(委員) 現在のプランにある課題を見ると、この 6 年間全く進んでいない。新しいことに取り組んでいくのも方法であるが、今後広げていくよりも、今ある課題解決に向けてある程度絞っていくのがいいのではないかと思う。

(委員長) 事務局から、今後の改善事項についてまとめた様式を皆さんに配布するということなので、次回までをお願いしたい。

(事務局) 次回会議を 2 月下旬に予定しているので、先ほどのプラン見直しのためのシートと合わせて皆さんに連絡をする。

## 5 閉 会

(副委員長) 皆さんもいろんな思いがあると思うが、次回までに意見を集約するという事で、次の会議でもまたいい案が出されることを願っています。本日はお疲れ様でした。